

Nikon

**双眼鏡 / BINOCULARS / FERNGLÄSER / JUMELLES /
BINOCULARES / BINOCOLO / BINÓCULO**

**使用説明書 / Instruction manual / Bedienungsanleitung /
Manuel d'utilisation / Manual de instrucciones /
Manuale di istruzioni / Manual de instruções**

**Jp En De Fr
Es It Pt**

日本語

目次

はじめに	4
安全上のご注意	4-5
使用上のご注意	6-7
各部のなまえ	8
使い方	9-10
ツリヒモの取りつけ方	11
観察時	12

はじめに

Jp このたびは、ニコン双眼鏡をお買い上げ
En いただき、ありがとうございます。

De 安全にお使いいただくために必ず以下の
Fr 諸注意事項をお守りください。
Es

It ① ご使用の前に、この使用説明書の「安全
Pt 上のご注意」、「使用上のご注意」、「使
い方」をよくお読みの上、正しくお使い
ください。

② お読みになった後は製品のそばなど、
いつも手元に置いて、ご使用ください。

③ この使用説明書の「安全上のご注意」
「使用上のご注意」「使い方」に書かれ
ている内容は、お客様が購入された製
品の仕様には含まれない項目も記載さ
れています。

この使用説明書には、あなたや他の人々
への危害や、財産への損害を未然に防ぎ、
本製品を安全にお使いいただくために、
守っていただきたい事項を示しています。
内容をよく理解してから、製品をご使用
ください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いを
すると、人が死亡または、重傷を負う可
能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いを
すると、人が傷害を負う可能性が想定さ
れる内容および、物的損害のみの発生が
想定される内容を示しています。

使用上のご注意

この項目にある表示を無視して、誤った
取り扱いをすると、製品の性能・機能を
阻害する損害の発生が想定される内容を
示しています。

安全上のご注意

警告！

この製品で絶対に太陽を見ないでくださ
い！

太陽をのぞくと、目を痛めたり、失明する
恐れがあります。使用時には細心の注意を
払って太陽を絶対に見ないようにしてくだ
さい。(図1)

注意！

- ・ この製品を不安定な場所に置かないでく
ださい。倒れたり、落ちたりしてけがの
原因となることがあります。
- ・ この製品を歩行中に使用しないでくださ
い。衝突や転倒により、けがの原因とな
ることがあります。(図2)
- ・ この製品のストラップを持って振り回さ
ないでください。他人に当たりけがの原
因となることがあります。(図3)
- ・ この製品に付属のケース、ストラップや
本機のゴム部分、目当てゴム等は、長期
間の使用や保管の間に劣化し、衣類など
を汚すことがあります。ご使用になる前
に点検し、劣化による異常が見られた場
合は、ニコンのサービス機関にご相談
ください。

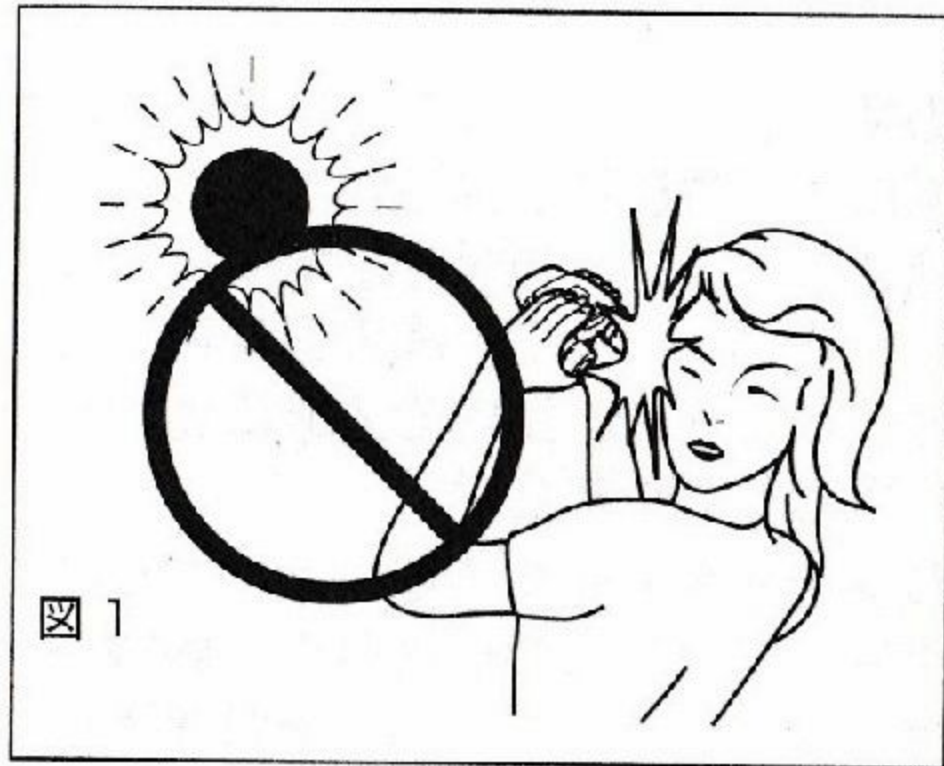


図 1



図 2

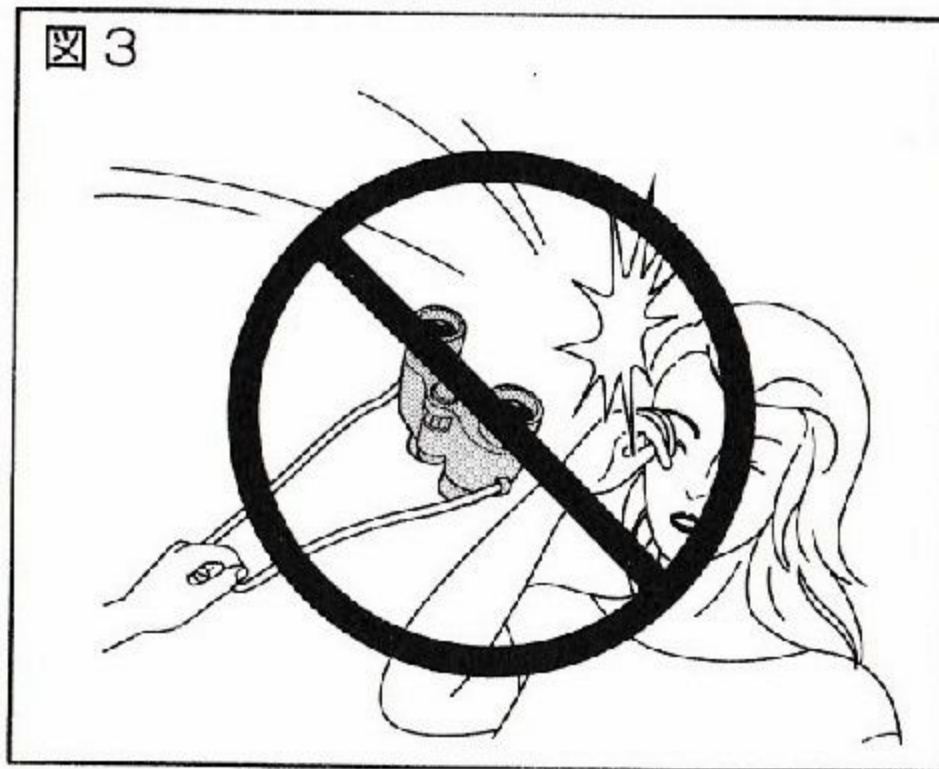


図 3

⚠ 注意！

- ・この製品の長時間使用を繰り返しますとゴム製目当てにより皮膚に炎症を起こすことがあります。もし、疑わしい状態が現れましたら、直ちに医師に相談してください。
- ・この製品の眼幅調整や視度調整を行うとき、指をはさみ、けがをすることがあります。小さなお子様の使用につきましては、特にご注意ください。(図 4)
- ・この製品の包装に使用されるポリ袋などを小さなお子様の手が届くところに置かないでください。口や鼻をふさぎ、窒息の原因になることがあります。(図 5)
- ・キャップ、目当てゴムなどお子様が誤って飲むことがないようにしてください。万一、お子様が飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- ・分解しないでください。この製品の修理は、専門の技術者の手を必要とします。(図 6)

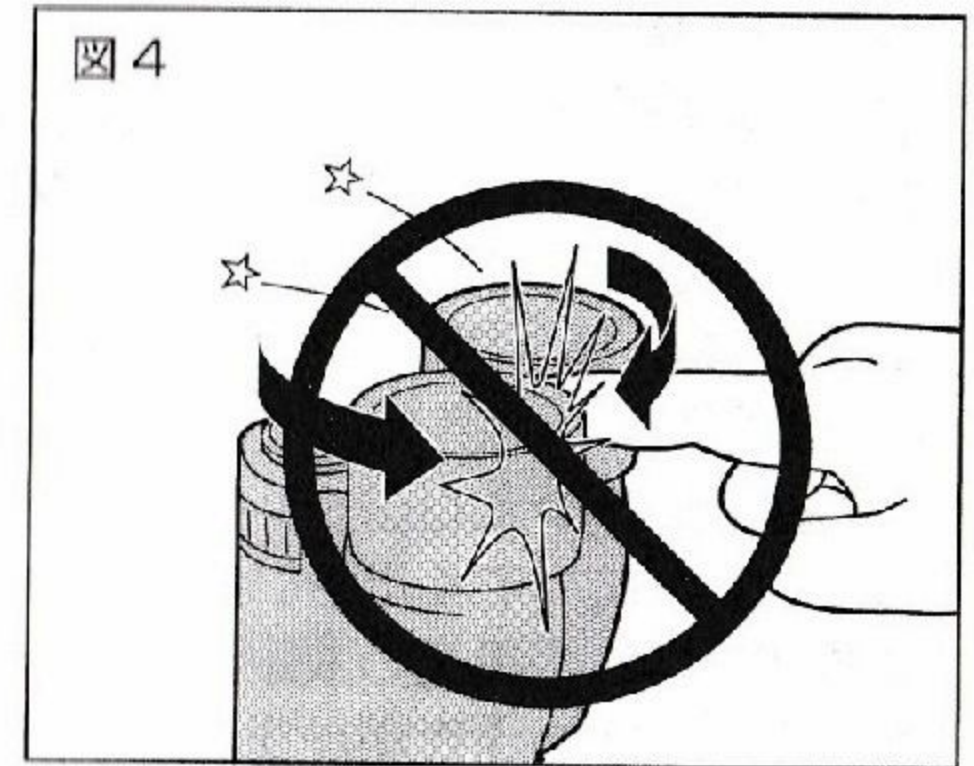


図 4



図 5

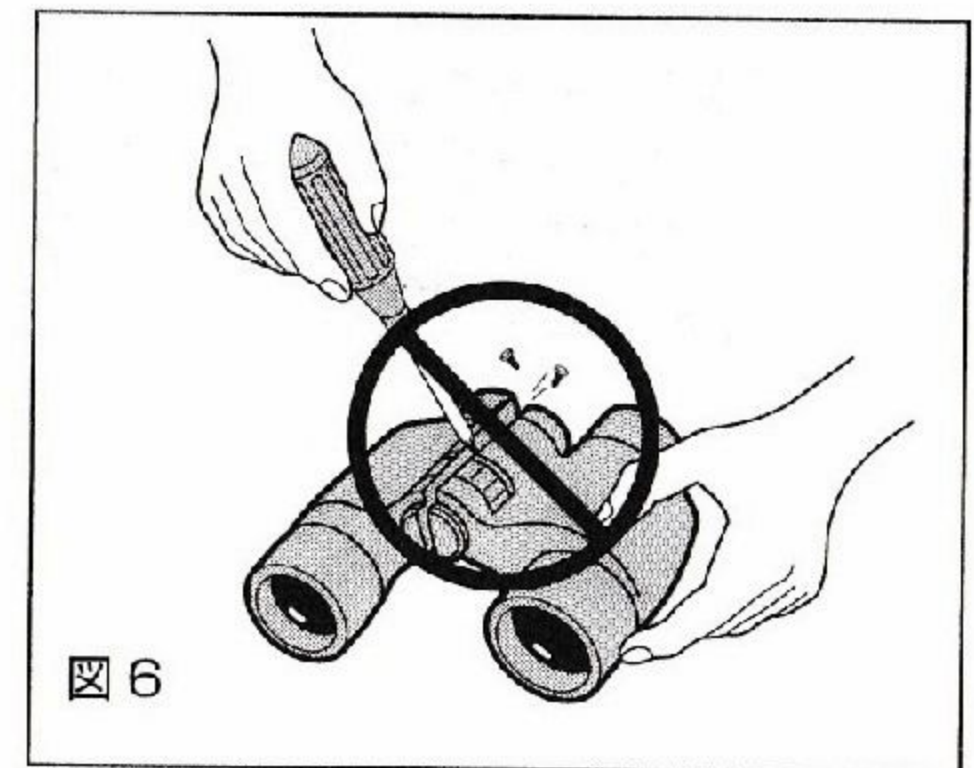


図 6

使用上のご注意

Jp

〔取り扱い・操作〕

En

De

Fr

Es

It

Pt

1. ボディを制限以上に、開かないようにしてください。また、「視度調整リング」「ピント合わせリング」や「ズームレバー（リング）」も、制限以上に回さないでください。（図7）
2. この製品に雨や水しぶき、砂や泥がかからないようにしてください。（図8）
なお、防水・防滴構造の双眼鏡については、多少の雨や水しぶきがかかっても、機能を損ねることはありませんが、できるだけ早く水滴を拭き取るようにしてください。お手持ちの双眼鏡が、防水・防滴仕様であるかどうかは、別紙『製品の手引き』で確認してください。
3. この製品に衝撃を与えないでください。誤って強い衝撃を与えてしまったり、地面に落としたりして、見え方がおかしくなったときや、水に浸してしまったときは、すぐにお買い上げ店、またはニコンのサービス機関にご相談ください。（図9）
4. 冷たい戸外から温かい室内に入ったときなどの場合、急激な温度変化によって、一時的に、レンズ面が曇ることがあります。この場合は自然に曇りがなくなるまで、乾燥させてください。

図7

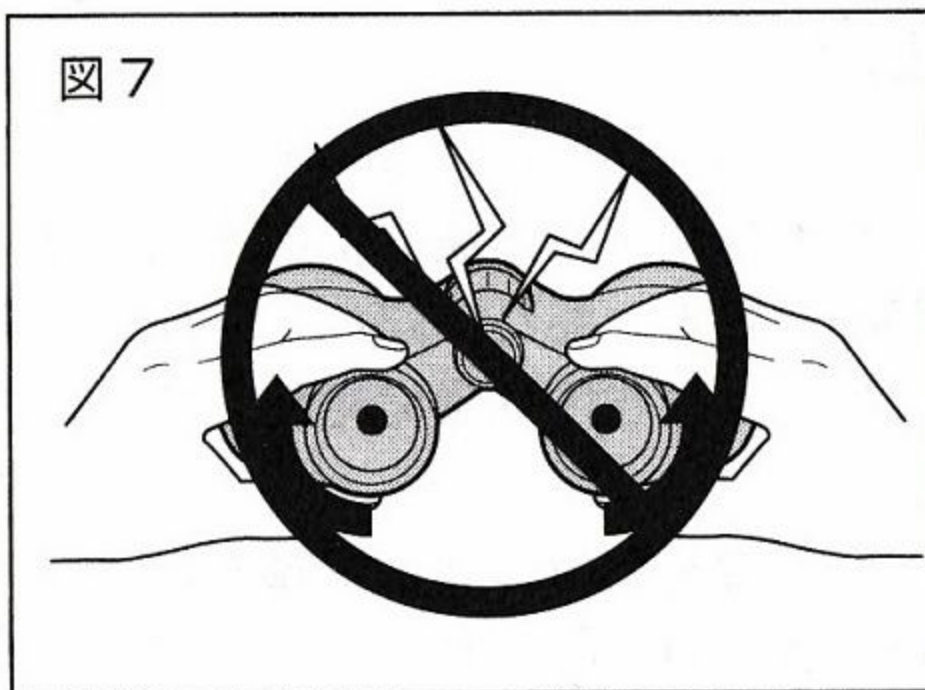


図8

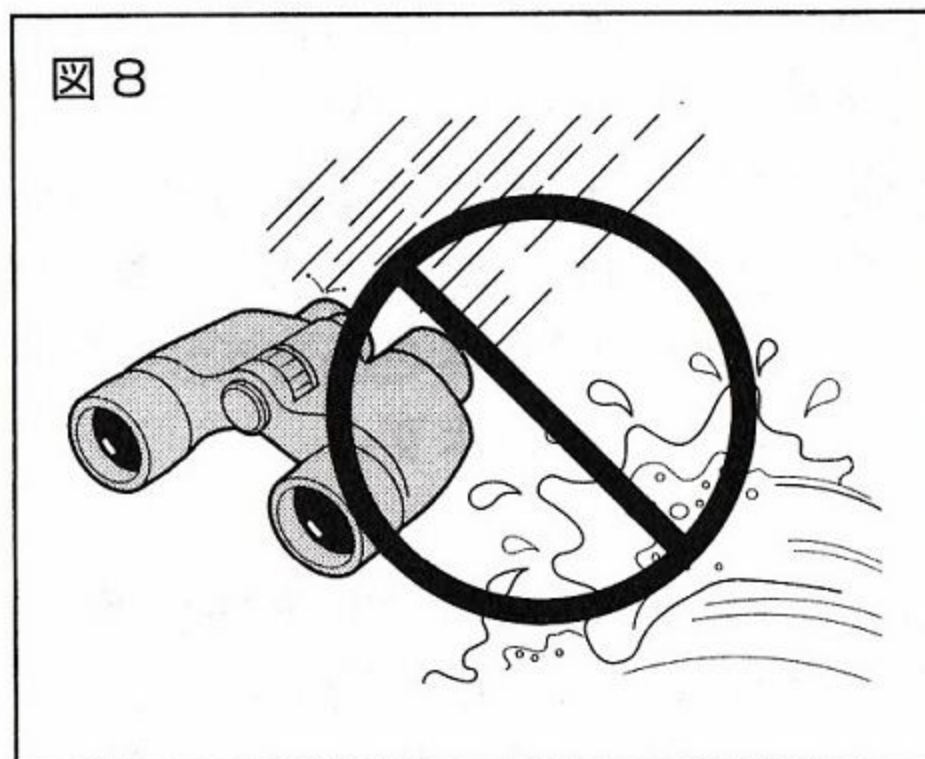
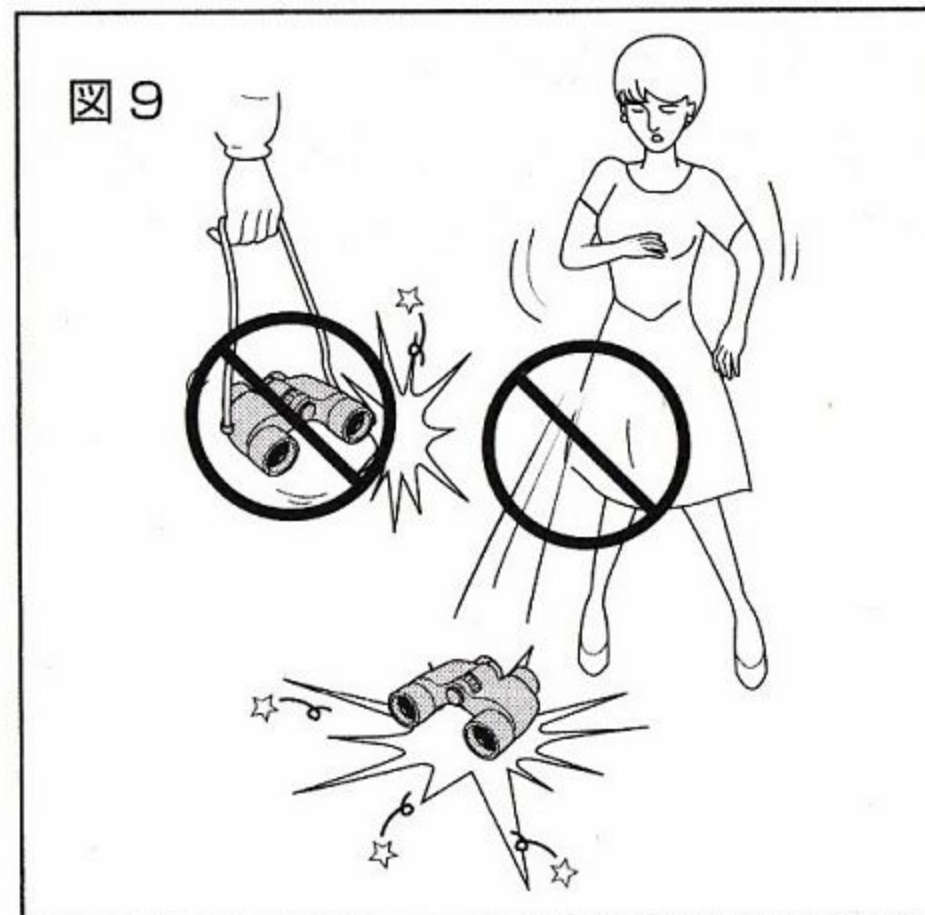


図9



〔保管〕

5. 湿気の多いところでの保管・使用は、レンズ面にカビや曇りが生じやすくなります。風通しのよい、乾燥した場所に保管してください。とくに、雨の日や夜間に使用されたときは、室内で十分に乾かしてから保管してください。
6. この製品を長期保管する場合は、プラスチック袋や気密性の高い容器に、乾燥剤と一緒に保管してください。それが不可能なときは、湿気の影響を受けやすい付属のケースから出して、別々に清潔で風通しの良い場所に保管してください。（図10）
7. 炎天下の自動車の中や、ヒーターなどの高温の発熱体のそばに、この製品を放置しないでください。製品の変形、故障の原因となります。（図11）



図 10

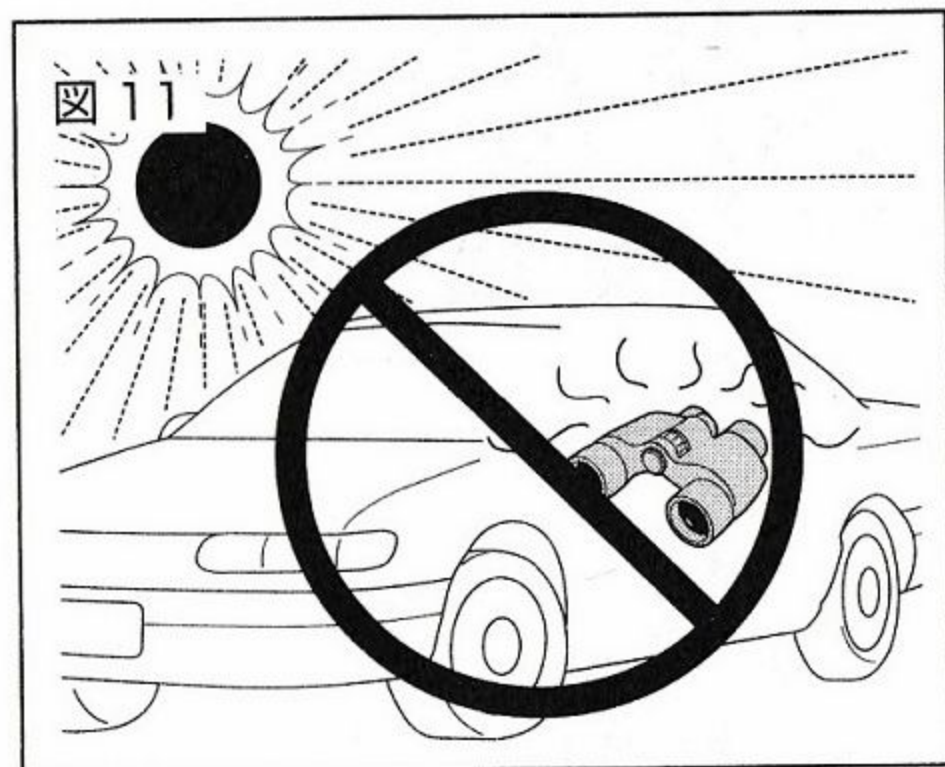


図 11

〔手入れ・保守〕

8. 本体のお手入れは、ブロア*でゴミやホコリを軽く吹き払ったあと、柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。とくに、海辺等で使ったあとは、湿った柔らかい清潔な布で塩分を拭き取り、次に乾いた布で軽く拭いて乾かしてください。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、有機溶剤を含むクリーナーなどを汚れ落としに使わないでください。(図 12)

ブロア：ノズルから空気をいきおいよく吹き出すことができるゴム製の清掃道具

9. レンズ面のホコリは、柔らかい油気のないハケで払うようにして、とりのぞいてください。

10. レンズ面についた指紋などの汚れは、メガネ拭き専用の布（市販品）で拭き取るか、ガーゼまたは専用のクリーニングペーパー（カメラ店などで市販されているシリコンが含まれていないもの）に少量の無水アルコールを含ませて、軽く拭き取ってください。(図 13) 身近な布やビロード、なめし皮などから拭きをしますと、レンズ面にキズをつけることがあります。また、一度本体の清掃に使用した布を、レンズ面の清掃には使用しないでください。

11. 「ピント合わせリング」や「視度調整リング」などの回転部分に入った砂・ゴミは、ハケでよく払ってください。(図 14)

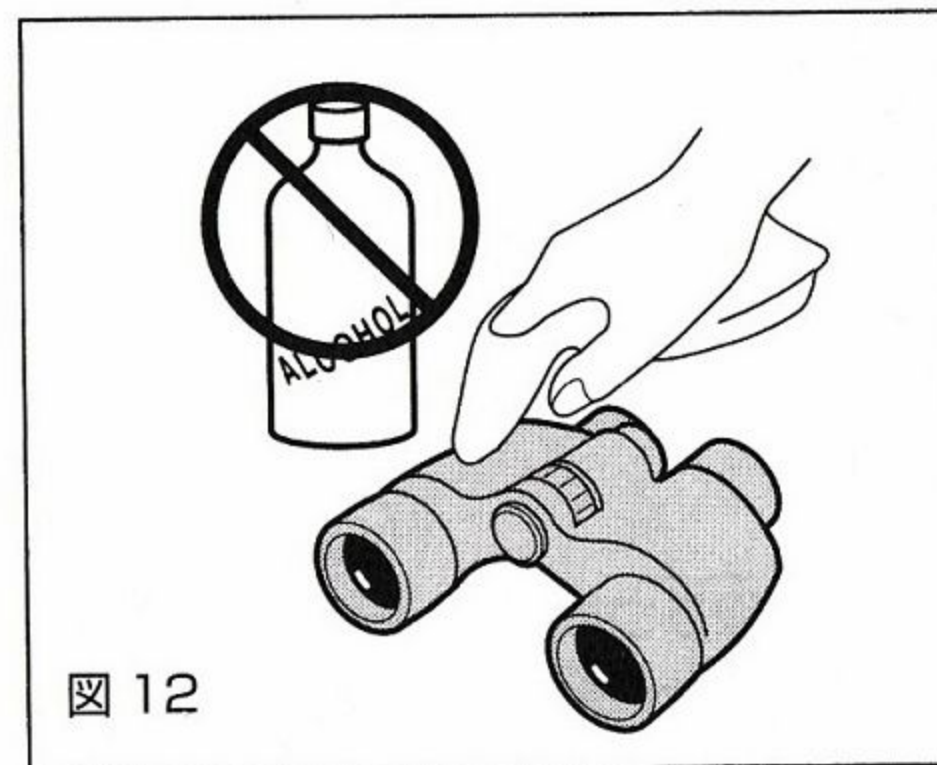


図 12

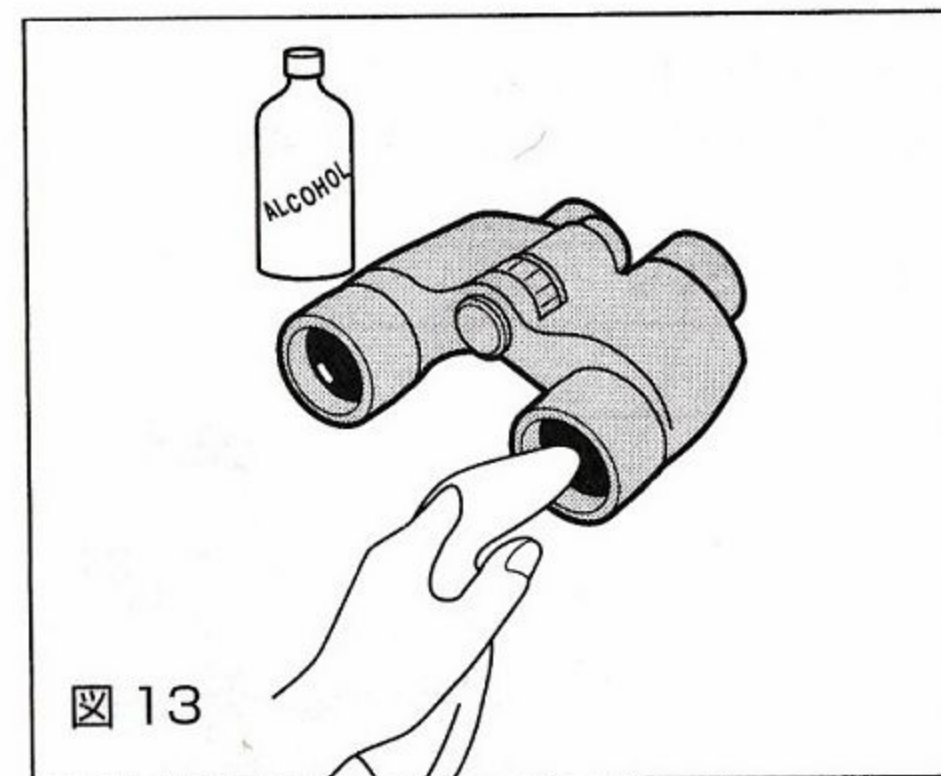


図 13

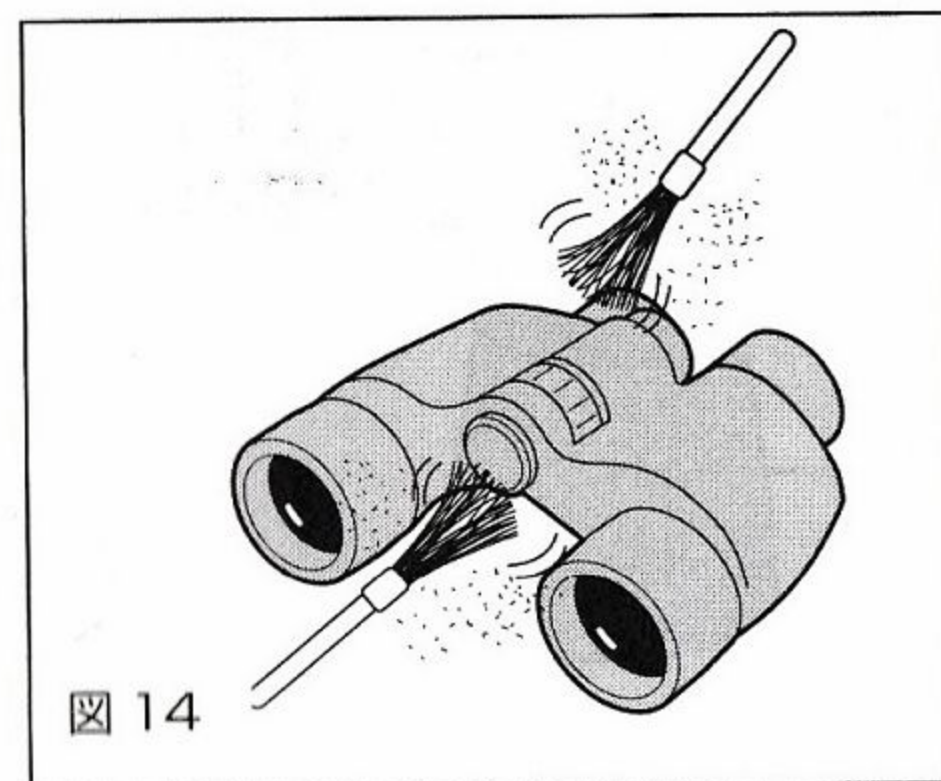
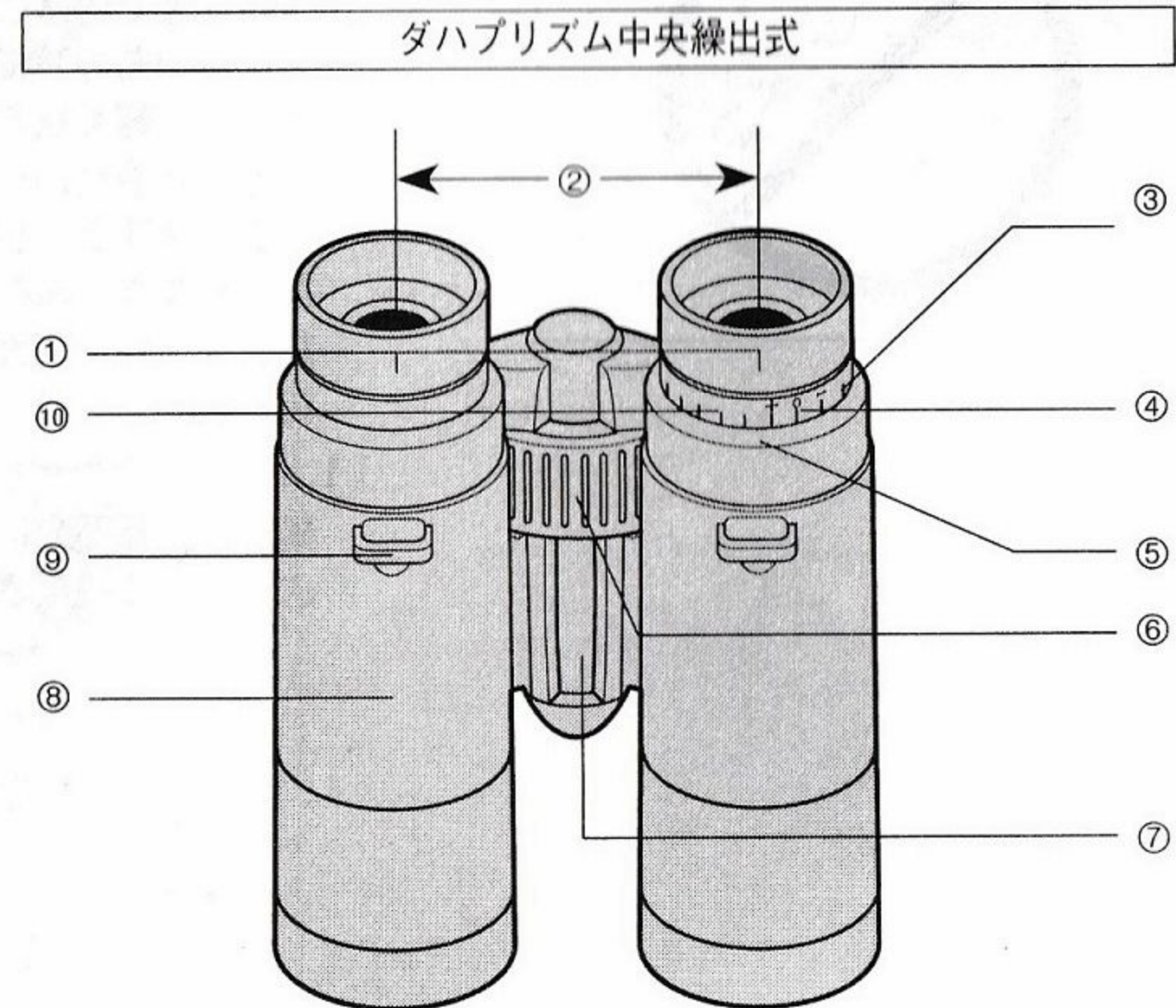
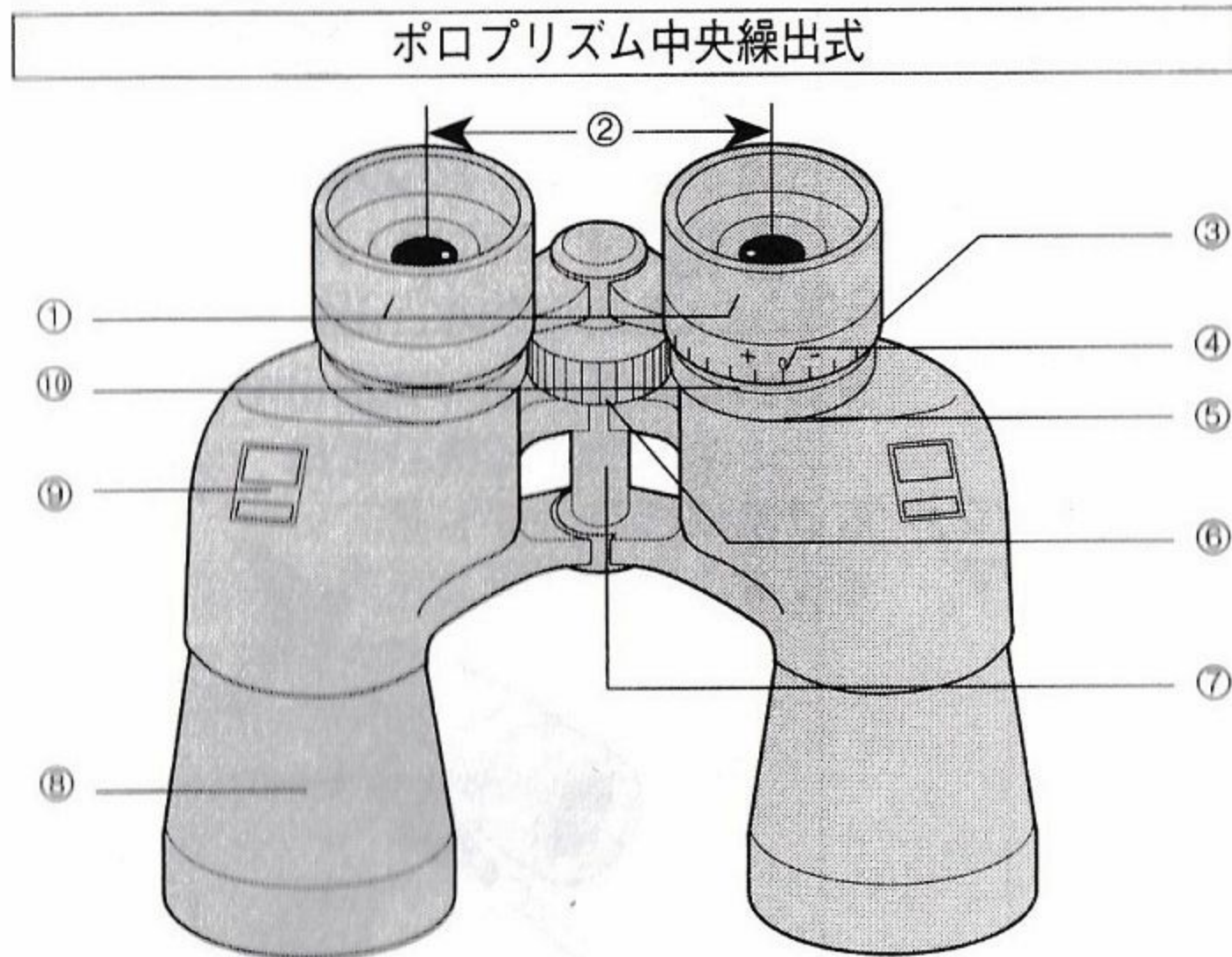
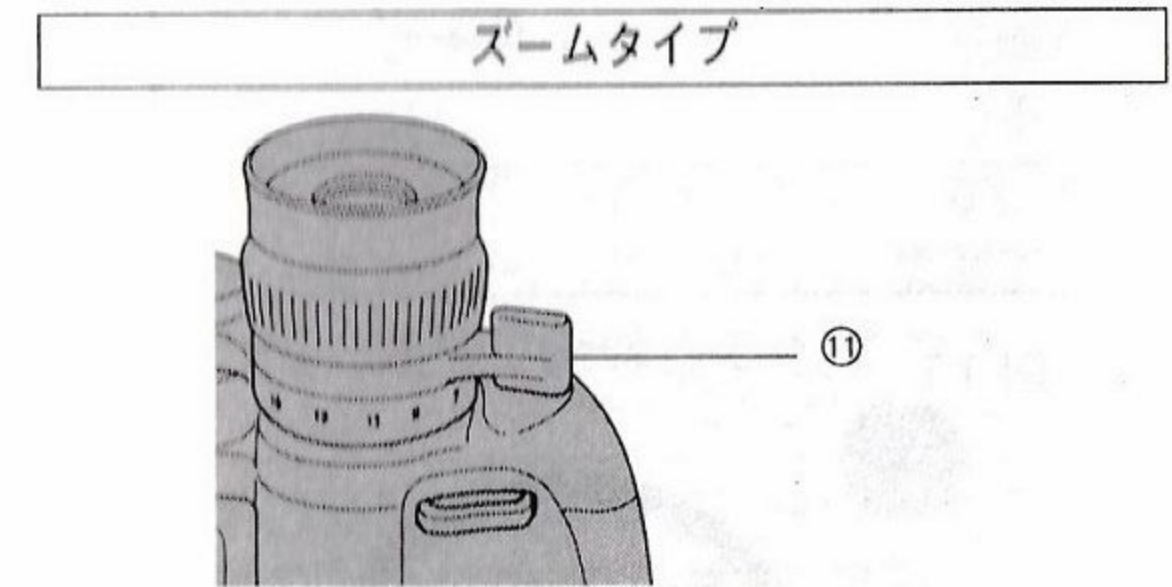
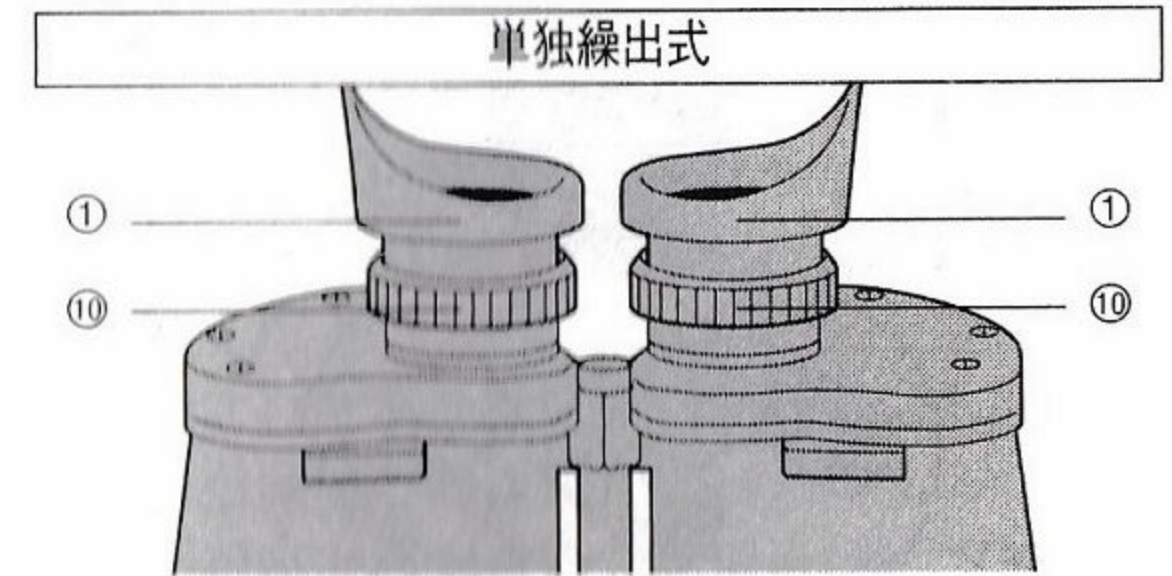
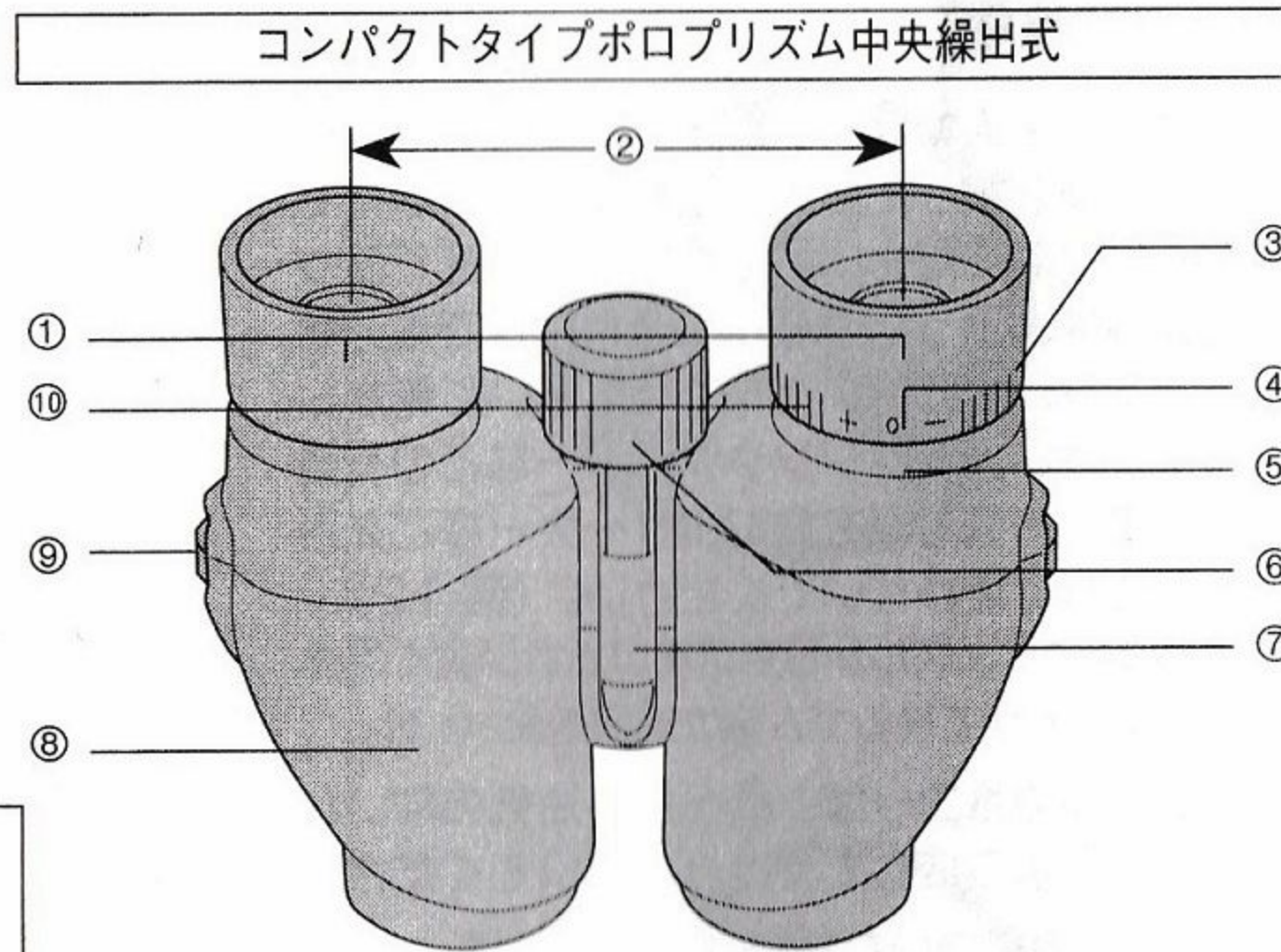


図 14

各部のなまえ

- Jp** ① 接眼目当て
- En** ② 眼幅
- De** ③ 視度調整リング
- Fr** ④ 0ディオプター位置
- Es** ⑤ 指標
- It** ⑥ ピント合わせリング
- Pt** ⑦ 中心軸
- ⑧ ボディ
- ⑨ ツリヒモ取り付け部
- ⑩ ディオプター目盛
- ⑪ ズームレバー

掲載の各部名称は、代表的な製品のものです。お買い上げの製品の各部名称については、別紙の「製品の手引き」でご確認ください。

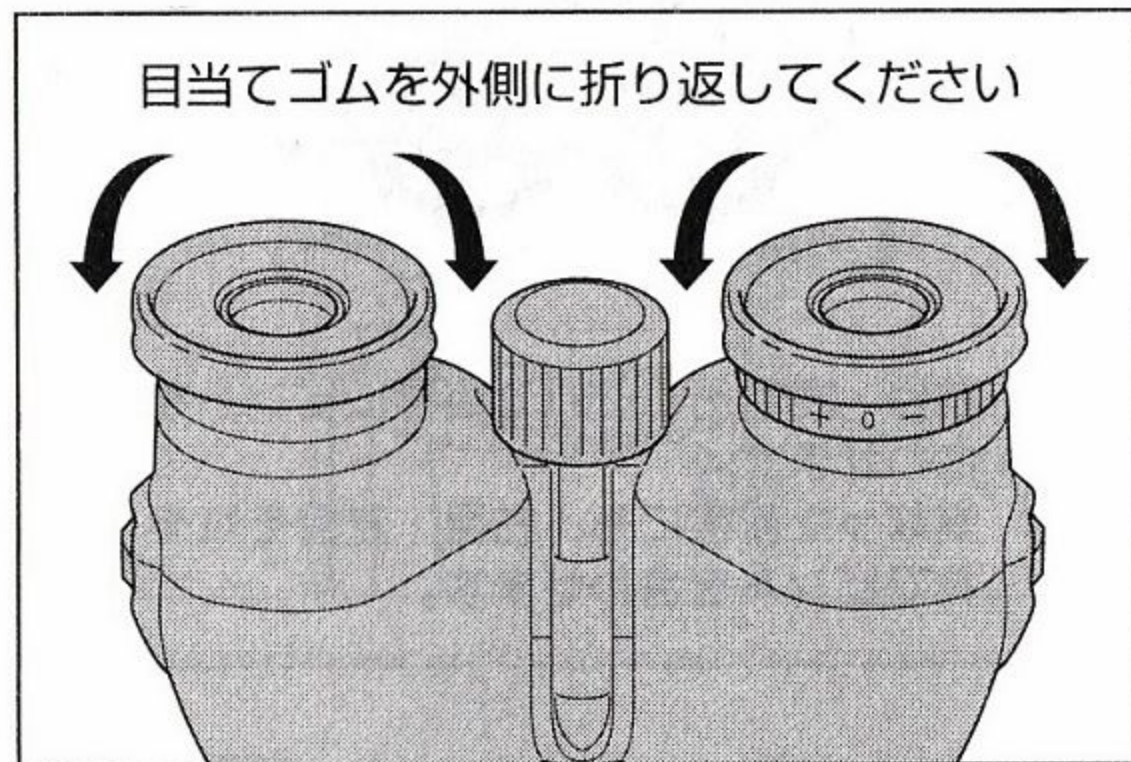


使い方

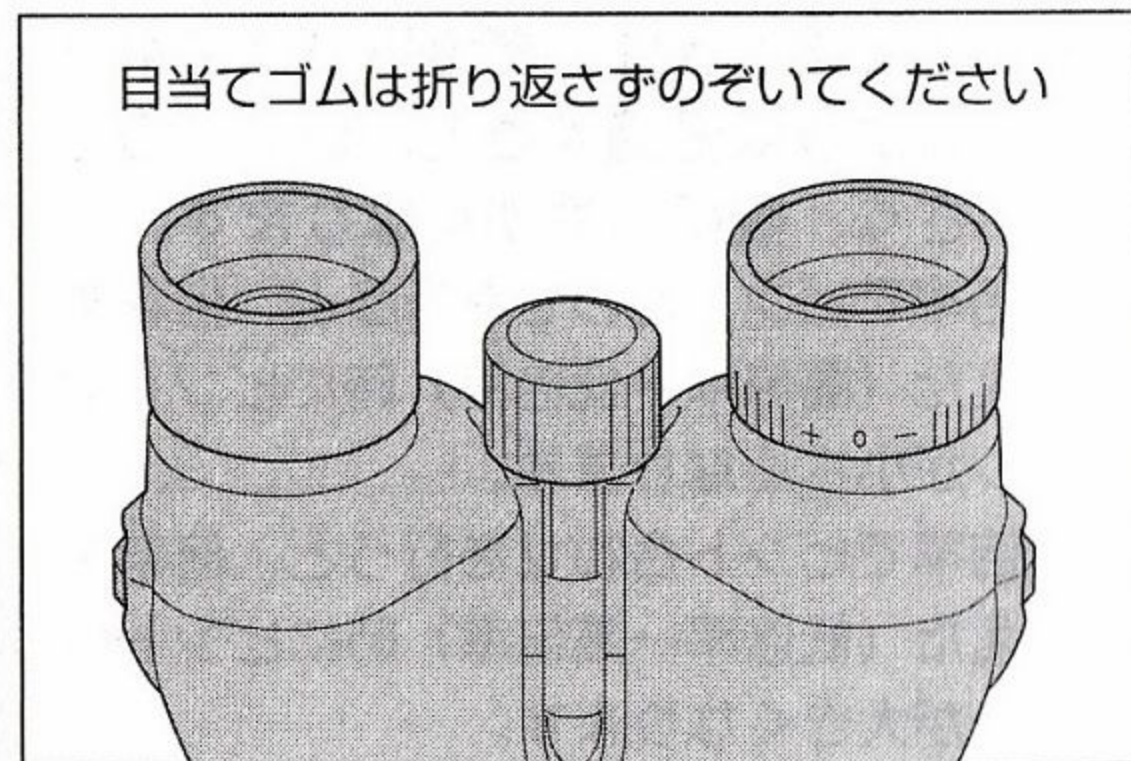
製品の仕様については、製品の手引きを参照してください。

【目当てゴムの取り扱い】

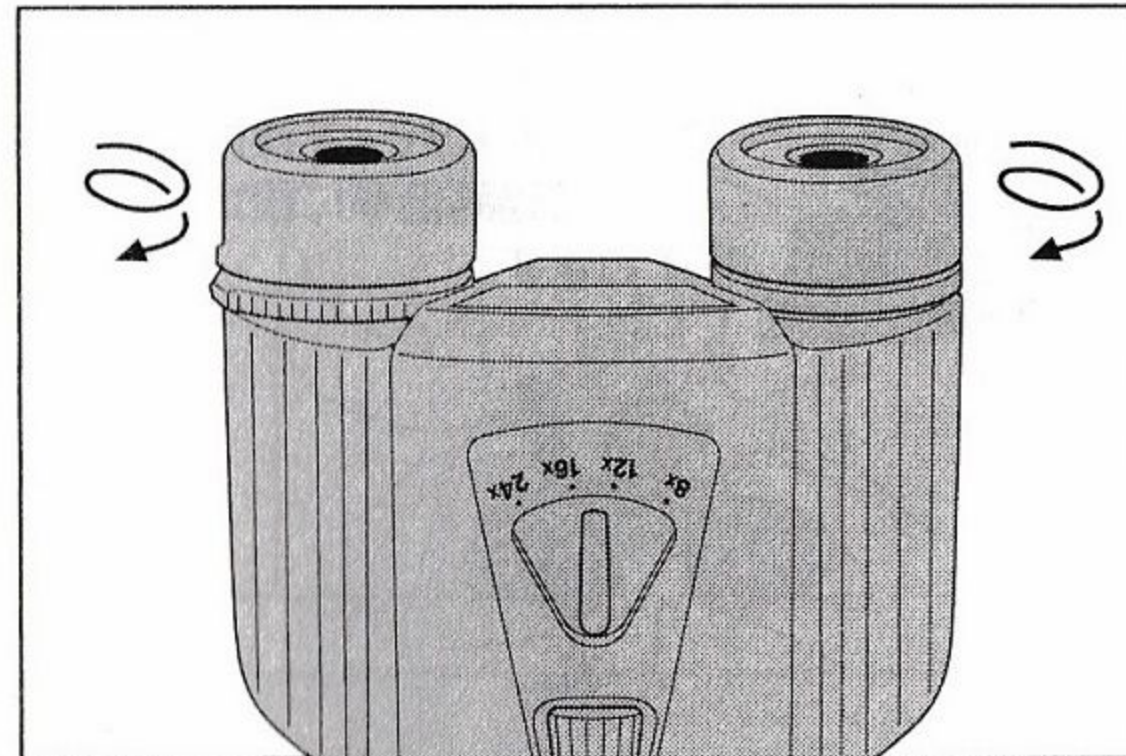
1. 折り返しタイプ平型目当てゴム 眼鏡装用者



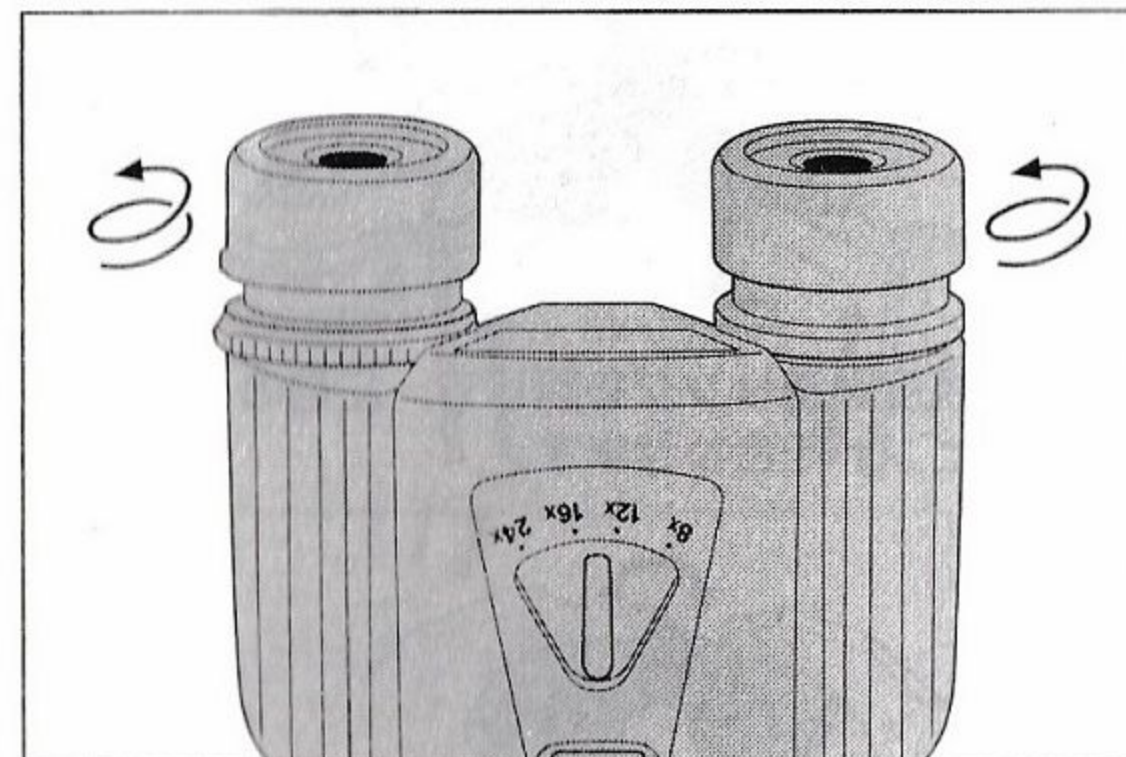
眼鏡非装用者



2. ターンスライドタイプ 眼鏡装用者



眼鏡非装用者

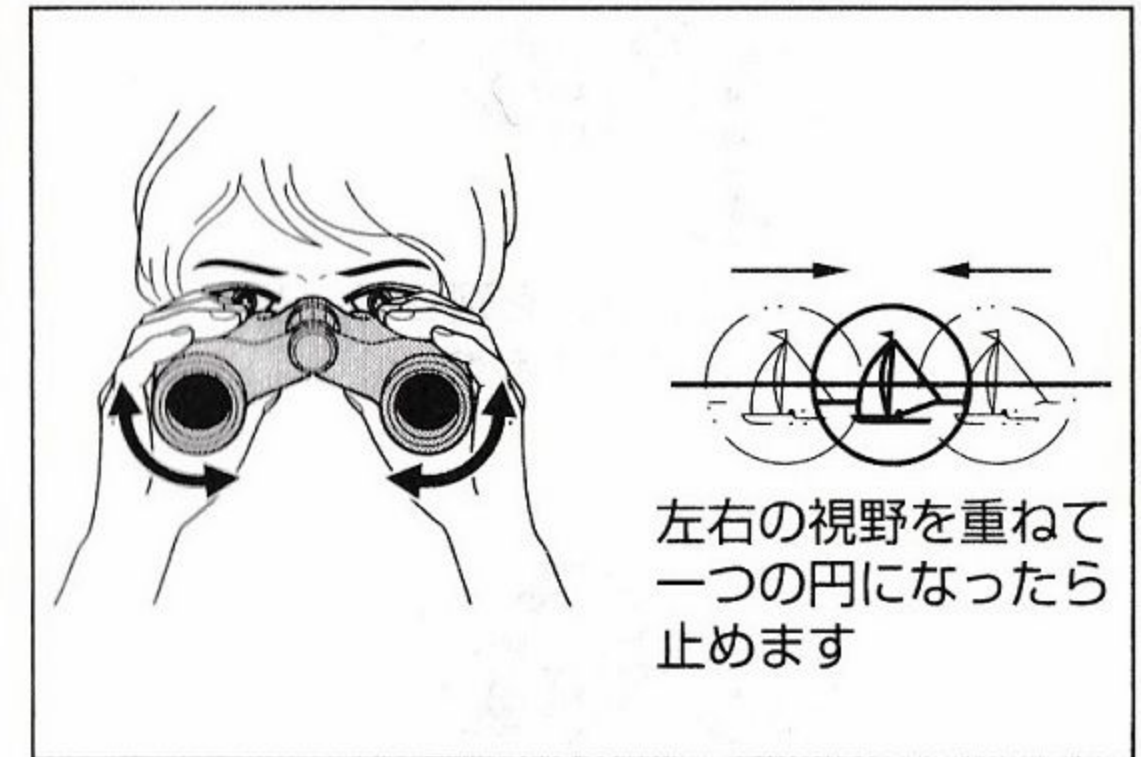


※ ツノ型タイプの場合は、眼鏡装用者は眼鏡を外して、眼鏡非装用者はそのまま、のぞいてください。

※ 眼鏡装用者対応平目当て（ミクロン・チタンシリーズ用）の場合は、眼鏡装用者は必要に応じて眼鏡を外して、眼鏡非装用者はそのまま、のぞいてください。

【眼幅調整】

左目・右目の瞳の間隔に、双眼鏡接眼部の眼幅を合わせます。



【視度調整】

左右の視力の違いを補正します。

※ 調整後の視度調整リングの値を記録すれば、次回の視度調整が簡単になります。

※ 視度調整リング・ピント合わせリングともに、遠くのもの→右に回す、近くのもの→左へ回すと、ピントが合います。

Jp

En

De

Fr

Es

It

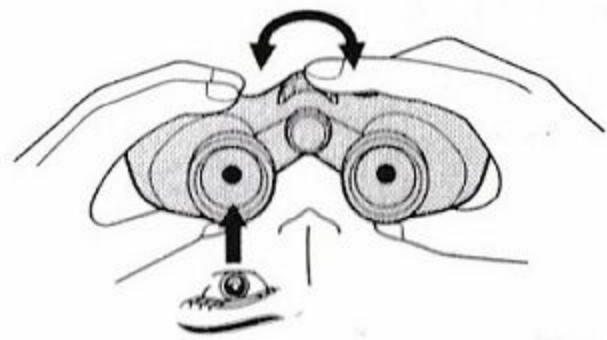
Pt

使い方

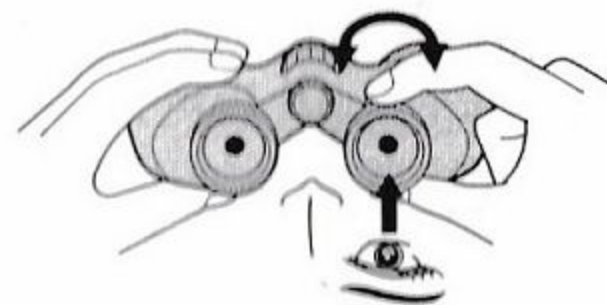
Jp
En
De
Fr
Es
It
Pt

1. CFタイプの双眼鏡

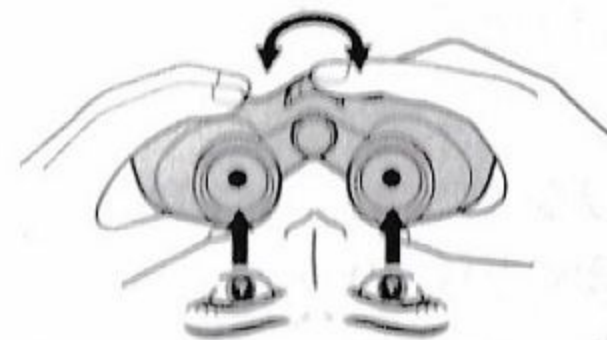
右目に視度調整リングがあるもの



① ピント合わせリングを回して、左目のピントを合わせます。

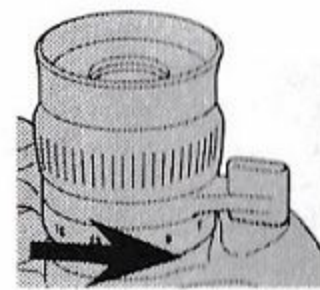


② 視度調整リングを回して、右目のピントを合わせます。

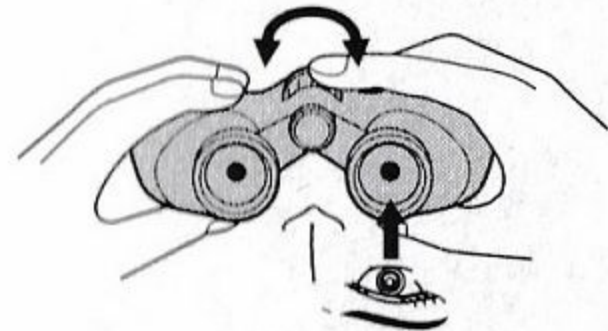


③ 最後に両眼でピントの確認をします。
④ 目標物を変えた時は、ピント合わせリングのみを回してピントを合わせます。

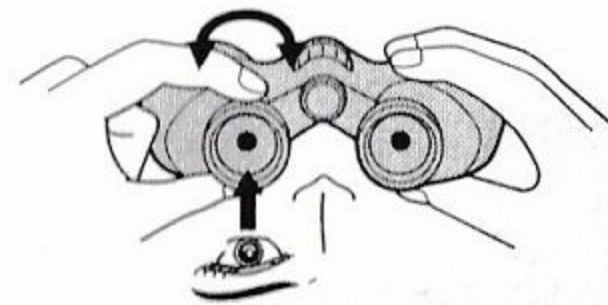
左目に視度調整リングがあるもの
(一部のズーム双眼鏡)



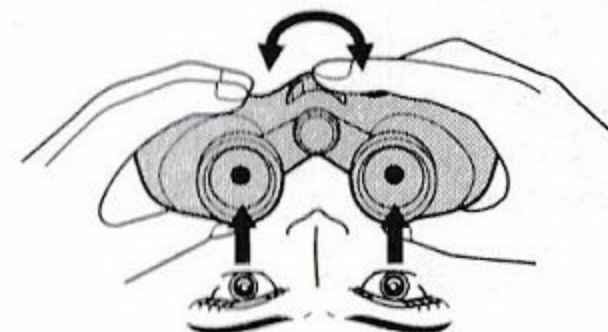
① ズームレバーを操作して最高倍率に設定します。



② ピント合わせリングを回して、右目のピントを合わせます。



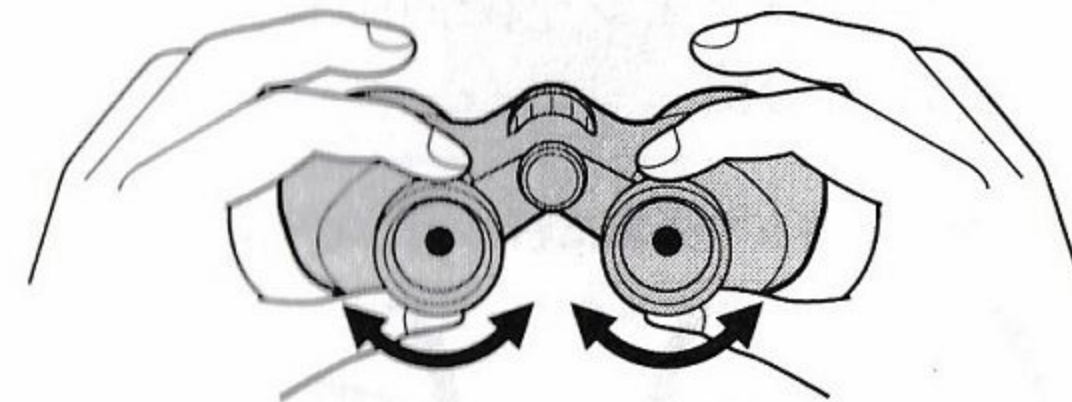
③ 視度調整リングを回して、左目のピントを合わせます。



④ 最後に両眼でピントの確認をします。
⑤ 目標物を変えた時は、ピント合わせリングのみを回してピントを合わせます。

2. IFタイプの双眼鏡

視度調整の必要はありません。



① 右目・左目それぞれで目標にピントを合わせます。
② 異なった目標にも、右目・左目それぞれでピントを合わせます。

【倍率とピント（ズーム双眼鏡）】

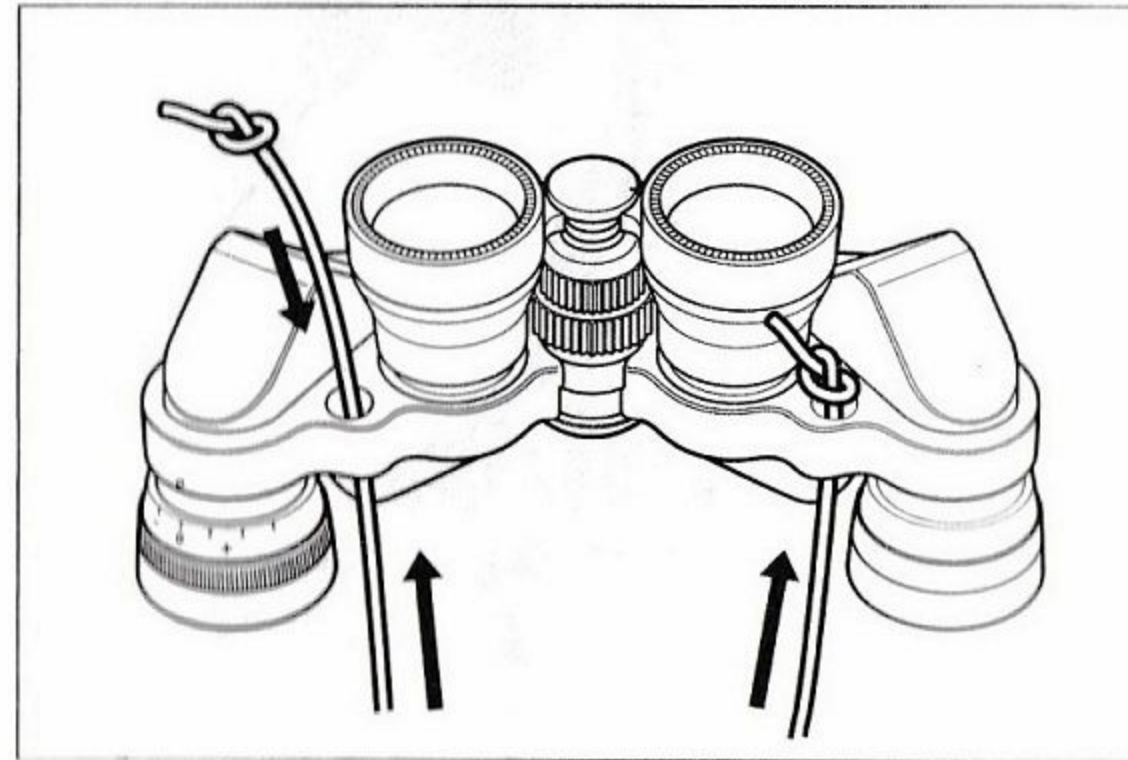
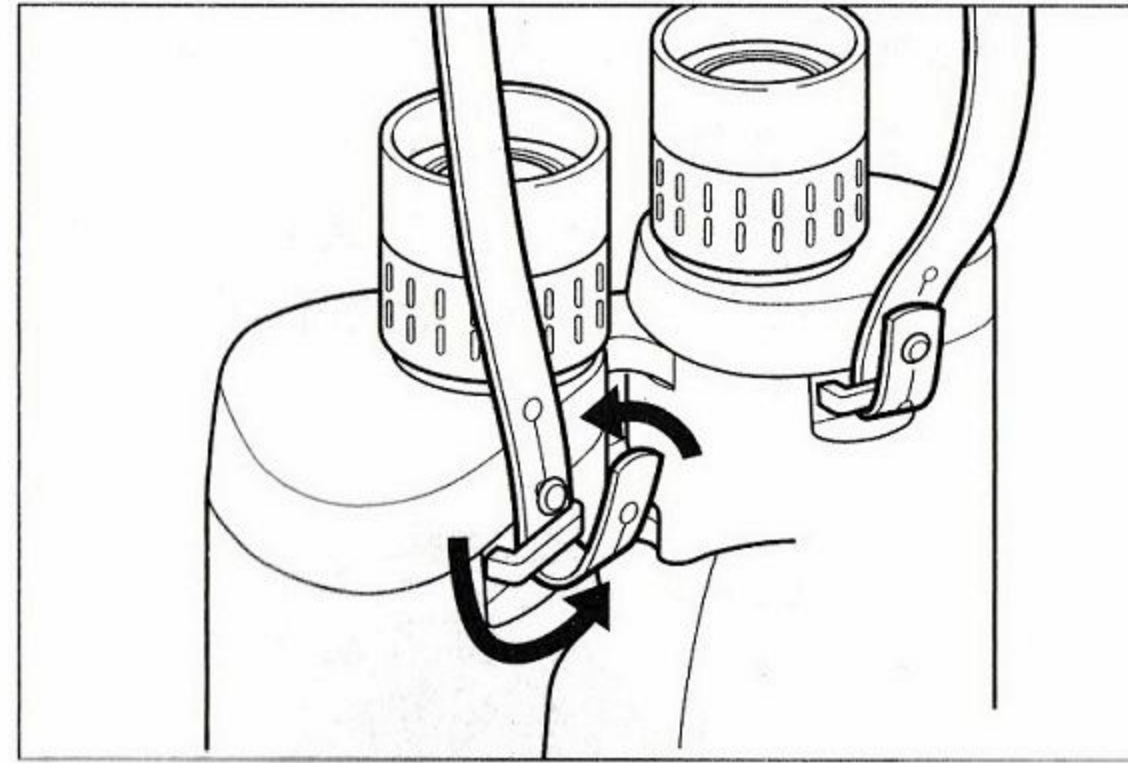
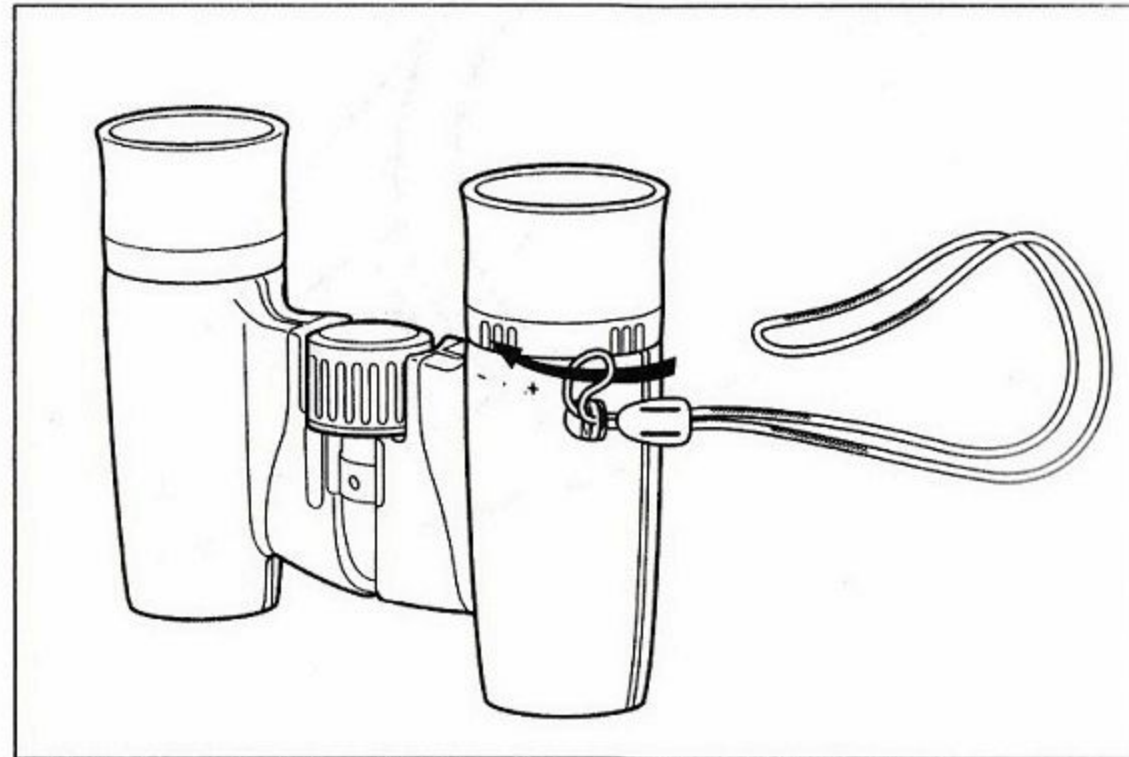
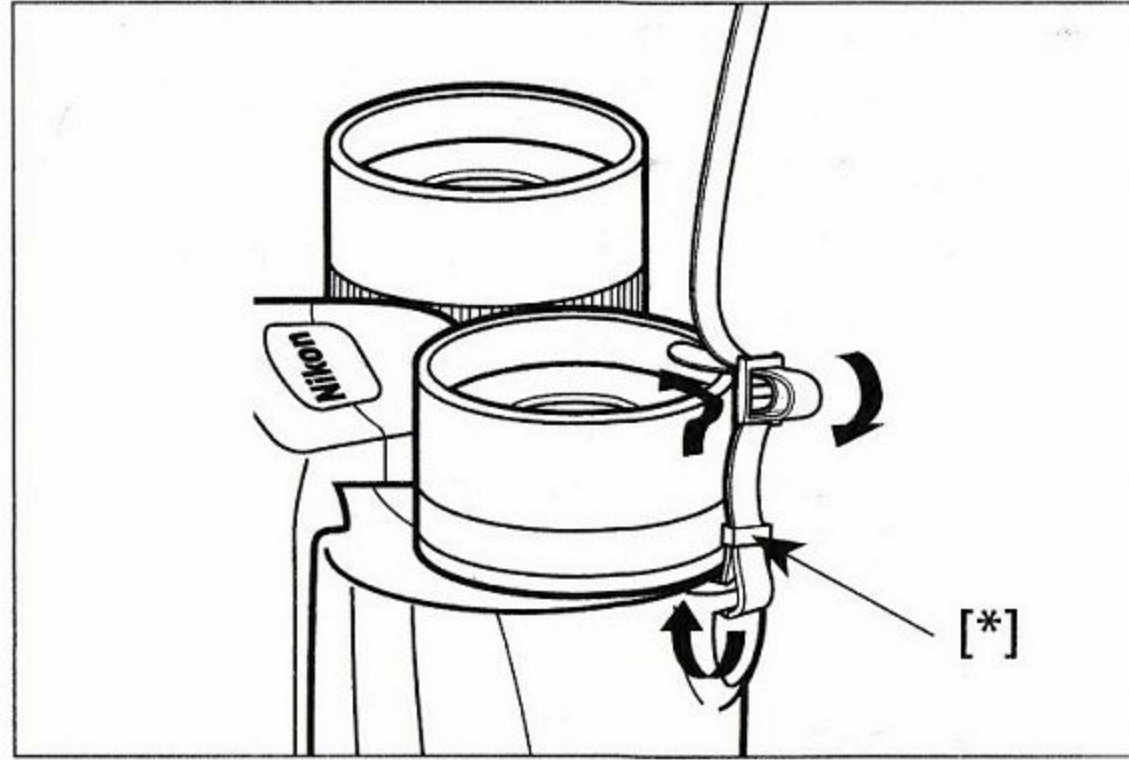
倍率を変えるときは、高倍率→低倍率→高倍率のように変倍すると、ピントのズレが小さく、観察しやすくなります。

※ 高倍率でピント合わせを行うと、倍率を変えた（高倍率→低倍率）時にピントのズレが小さくなります。

低倍率でピント合わせを行うと、倍率を変えた（低倍率→高倍率）時にピントのズレが大きくなります。

ツリヒモの取り付け方

図のように付属のひもを取り付け部に取り付けてください。リング [*] の付属しない製品もあります。



- Jp
- En
- De
- Fr
- Es
- It
- Pt

観察時

Jp 【一体型接眼キャップの観察時の取り扱い】

En 下記の [1]、[2] 二通りの方法があります。

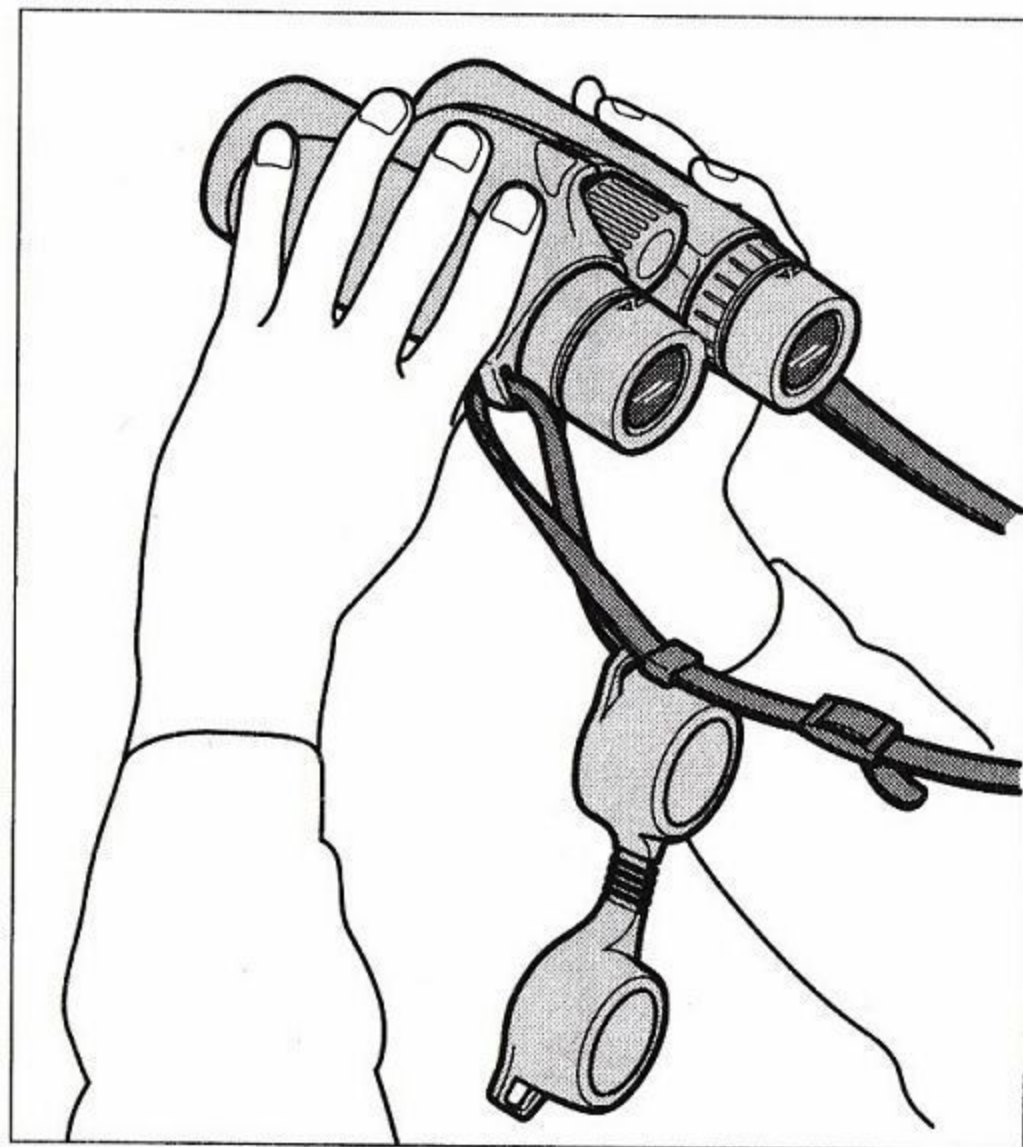
De [1] 接眼キャップを本体から外し、両方のツリヒモにぶら下げて観察する。

Fr [2] 接眼キャップを本体から外した後、右側のツリヒモから接眼キャップを外して、左側のツリヒモにぶら下げた状態で観察する。

Es

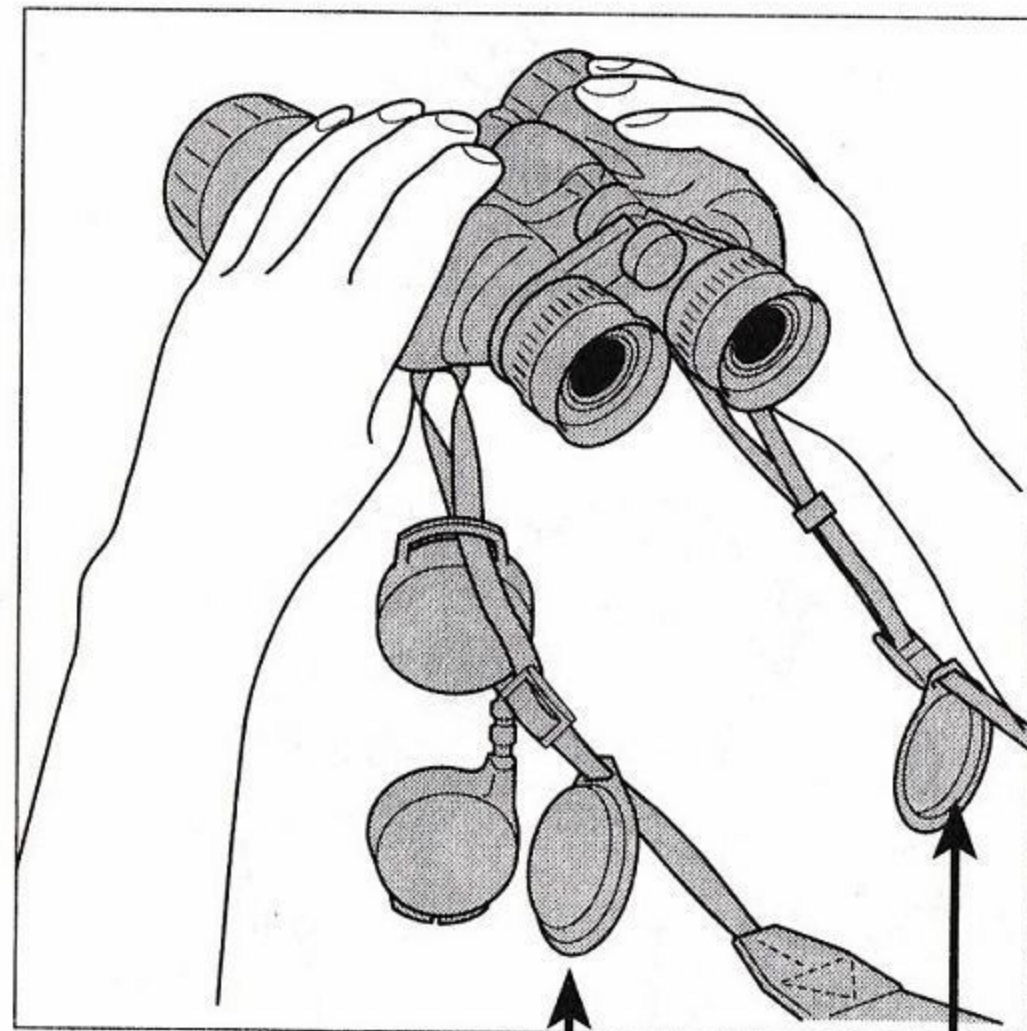
It

Pt



【観察時の対物レンズキャップの取り扱い】

観察時、対物レンズキャップの紛失を防止するために、対物レンズキャップをツリヒモに取り付けることが出来る双眼鏡もあります。

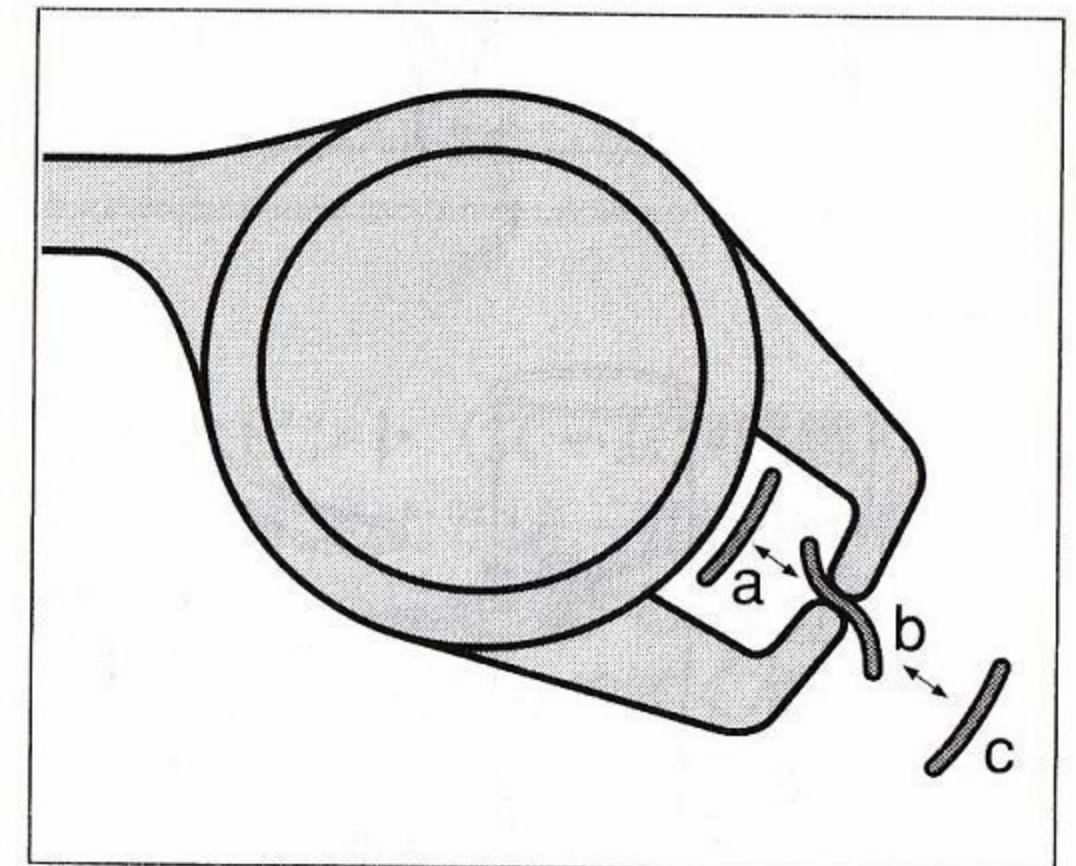


対物レンズキャップ

【一体型接眼キャップおよび対物レンズキャップの観察時の取り扱い】

接眼キャップ右側のツリヒモ取り付け部と対物レンズキャップのツリヒモ取り付け部には、ツリヒモ着脱のための切れ目があります。

- ・ 取り外し方：図の a-b-c のように、ツリヒモを取り外します。
- ・ 取り付け方：図の c-b-a のように、ツリヒモを取り付けます。





株式会社 **ニコンビジョン**
NIKON VISION CO., LTD.

Printed in China (301K)6DE/1608